

令和2年7月豪雨（7月13～14日）における 寺内ダム^{てらうち}の防災操作について

独立行政法人水資源機構が管理する筑後川水系佐田川^{さ た が わ}の寺内ダム（福岡県朝倉市）の流域では、九州北部付近に停滞した梅雨前線に伴う豪雨により、7月13日20時から14日12時までの総雨量が159.2mmとなり、特に14日1時から2時までの時間雨量は58.7mmを記録しました。

この洪水に対して、寺内ダムでは防災操作^{*}を実施し、最大流入量が毎秒約195立方メートルの時に、約58%に相当する毎秒約113立方メートルの水をダムに貯留し、総貯留量は約67万立方メートルとなりました。

この防災操作により、寺内ダムの下流約8.5kmにある金丸橋水位観測所^{かなまるばし}では、ダムが無かった場合に比べて、河川水位を約1.03m低減できた^と推定されます。

※「防災操作」とは、大雨の際にダムに流れ込む水の一部を一時的にダムに貯め込むことで、ダムから下流に流す水の量を減らし、下流の川の水位を低減させるダム操作です。

今回の発表は速報値であり、数値等は今後の調査により変わることがあります。



令和2年7月16日

独立行政法人水資源機構^{みずしげんきこう} 筑後川上流総合管理所

配布先

国土交通省九州記者会	九州建設専門記者クラブ
西日本新聞朝倉支局	読売新聞筑紫支局
毎日新聞福岡南支局	朝日新聞太宰府支局

問い合わせ先

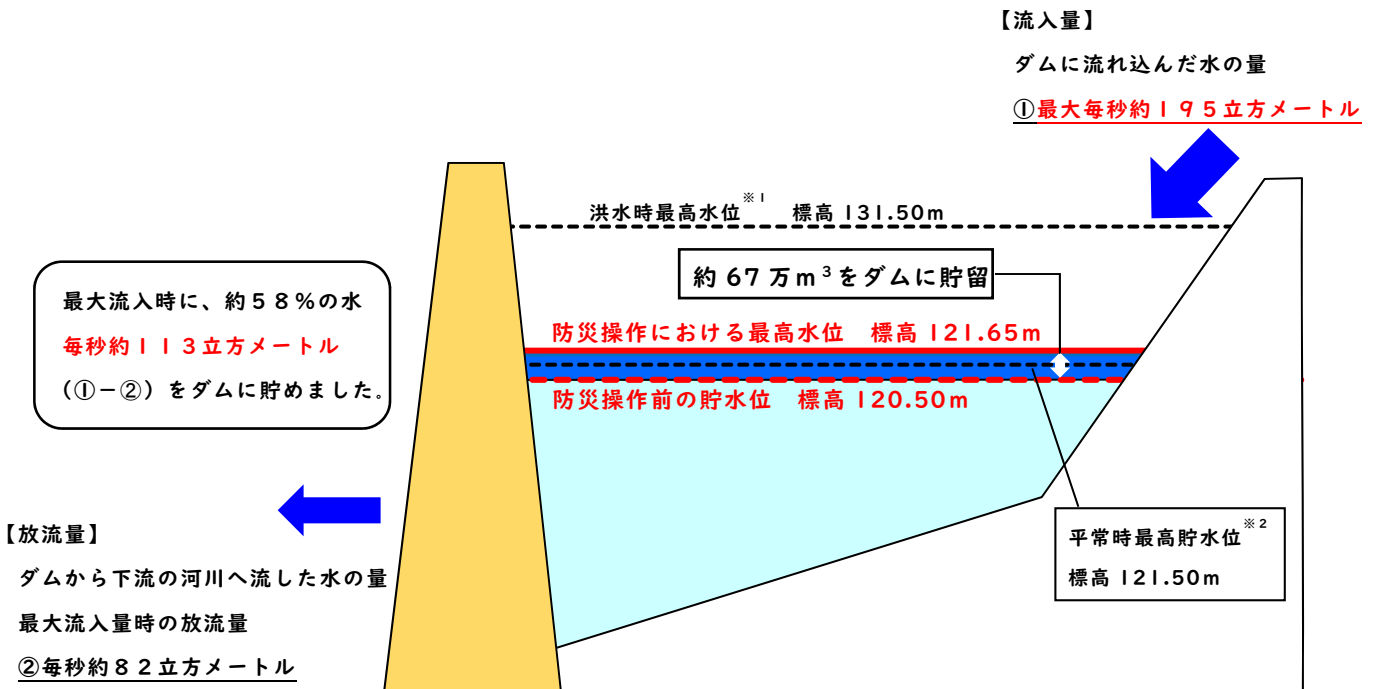
独立行政法人水資源機構 筑後川上流総合管理所
管理課長 ^{しまもと} 島本

住 所 : 福岡県朝倉市江川 1660-67
電 話 : 0946-25-0113
HP アドレ ス : <https://www.water.go.jp/chikugo/asakura>

寺内ダム位置図



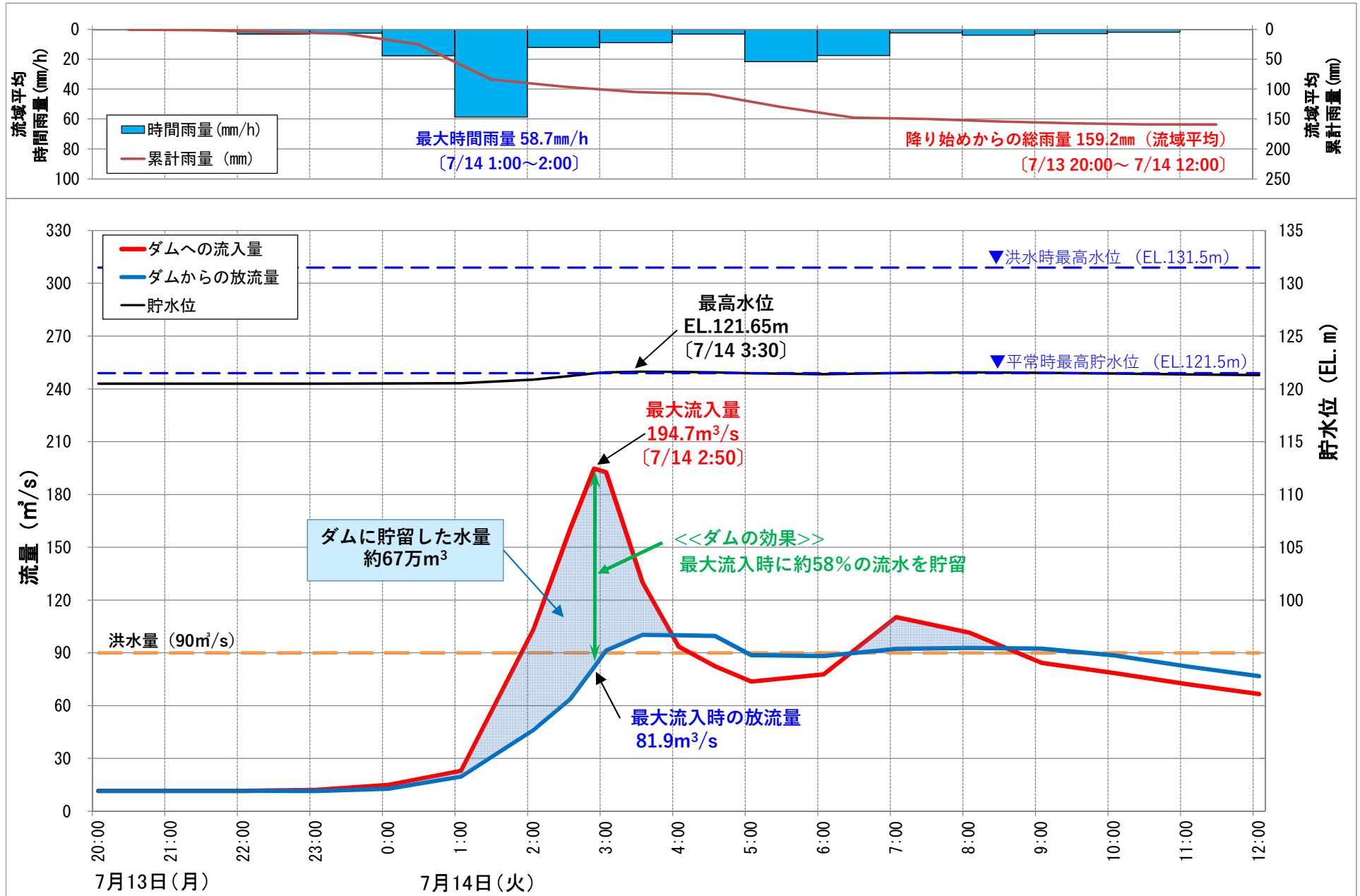
寺内ダムの洪水時防災操作



※1 洪水時最高水位：洪水時にダムによって一時的に貯留することとした流水の最高水位
 ※2 平常時最高貯水位：平常時にダムによって貯留することとした流水の最高水位

※今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。

寺内ダム防災操作図 令和2年7月13日～14日



ダム下流河川の水位低減効果



金丸橋水位観測所における、ダムに流れ込む水を貯めて川の水を減らしたことによる効果

① ダムがなかった場合

推定最高水位 3.70m

※推定最高水位には誤差が含まれます。

② ダムに流れ込む水を貯めたことによる
河川最高水位

観測最高水位 2.67m

ダムに水を貯めたことによる効果 (①-②)
金丸橋河川水位観測所付近の河川水位を
約 1.03m 低減させています。

※この数値は速報値です。

